

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営方針

顧客ニーズを汲み上げ、新しい投資対象を商品化し提供することで、ステークホルダーに必要とされ永続的に成長する企業を目指す

ファンド運用資産残高
233億円

不動産等受託資産残高
207億円

太陽光発電設備等
58億円

車両等受託資産
42億円

② 中長期の経営戦略

1. ファンド運用資産の拡大

既存経験を活かし不動産等受託資産と新規ファンド受託により安定収益を積み上げ、太陽光発電・車両ファンドの優良案件発掘と新規アセット開発

3. 金融機関との関係構築

事業展開による資金需要増に対応し、取引金融機関の新規開拓と既存関係強化で機敏な資金調達体制を構築

2. 事業基盤の強化

既存事業拡大と新市場開拓で事業ポートフォリオ充実。シナジーとリスク分散を狙いながら新規事業投資とM&A実施

4. 提携先連携の推進

証券会社・金融機関・税理士法人との連携深化により、富裕層・優良未上場企業向け販売ルート拡大と案件発掘強化

③ 対処すべき課題

① 安定収益基盤の構築

- 多様な投資アセット対象の新規ファンド開発・組成
- 太陽光発電・車両ファンド事業の優良案件開発
- 受託資産残高の拡大

② 事業ポートフォリオ充実

- 新市場開拓による事業基盤強化
- 複数新規事業への積極投資
- M&A等による事業拡大

③ 人材戦略

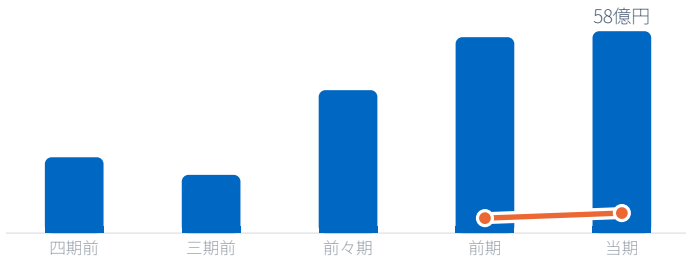
- 専門知識・経験豊富な人材確保の必要性
- 現38名体制での業務負荷と人材育成

面接で使えるポイント

- 2025年11月期のファンド運用資産233億円から資産残高拡大を目指し、多様な投資アセット開発に注力する方針
- 太陽光発電や車両などの受託資産ビジネスと、アセットマネジメント事業のシナジーを活かした成長戦略
- 現38名の専門人材を核に、新卒採用と専門性高い人材確保で業容拡大に対応する体制構築

証券コード 3266

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
58億円

営業利益率
9.9%

財務健康度
54点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 53.6（当サイト算出の参考指標）

平均年収
1,065万円
不動産業内 18位/130社

平均年齢
47.0歳
不動産業内 11位/131社

平均勤続
2.0年
不動産業内 126位/131社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

